

今は未来のためにある

令和8年度に高める力のキーワード
「あいさつ」、「黙働」、「敬語」、「アンテナ力」

No.12 令和8年6月2日 発行者;校長 小倉 大二

【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、
思いやりの心もち、
新たな価値創造に挑戦する中で、
母校への誇りをはぐむ生徒の育成

体育大会 アーカイブ

体育大会が、5月30日（土）に実施されました。今年は、秋ではなく春の体育大会でした。生徒たちの日ごろの行いがよいせいか、当日は天候にも恵まれ、五月晴れの空の下で、体育大会を実施することができました。

体育大会の本格的な取組は、2週間前から始まりました。右の写真は第1回目の全体練習（決起集会）で保健体育委員長がスローガン「心を燃やせ～その情熱を闘志に変えろ～」を発表している様子です。

決起集会の最後には、それぞれの色で輪になり、各色の団長の指揮の下、円陣を組みました。1年生、2年生、3年生という異学年での交流の経験は、価値あるものです。きっと、1年生は体育大会を仕切る3年生の先輩方の姿に、憧れや尊敬の念を抱いたのではないかと思います。



さて、体育大会に向けての取組の期間、ラインや放送設備、熱中症予防のためのテント等が練習の際にはすでに用意されていました。いったい、誰が、いつ用意したのでしょうか？

それは、生徒会執行部や保健体育委員が、朝の7：45に集合し、先生方と一緒に準備をしていたのです。陰日向なく、全体のために仕事をしている人がいるからこそ、体育大会が迎えられます。朝早くから日々の準備をしていた生徒たちに感謝のエールを贈ります。「役割、責任を果たす」「人のために働く」、こういった経験や学びは、心を豊かにし、次への原動力になります。きっとこれからの人生の糧になるでしょう。



今年は、全国的に少し梅雨に早めに入る兆しもあり、天候に不安な面もありましたが、リハーサルの日をずらす等、時間割を工夫することで、体育大会に向けて予定通りに練習ができました。今回、一番懸念していたのは、3年生のダンスが仕上がるかどうかです。今までは、夏休みにダンス委員がダンスを考え始め、10月に本番を迎えるという長い期間があったものの、今年は4月に新しいクラスのメンバーで、すぐに、ダンスリーダーがダンスの曲や構成を考えなければならないという短い期間での準備でした。しかしながら、この心配も杞憂（きゆう）（起こるはずのないことを無駄に心配すること）でした。今年でダンスバトルも3年目を迎えます。卒業した先輩方の姿があったので、見通しをもつことができたのでしょうか。今年は、各クラスとも担任の先生の登場まで組み入れた私の想像を超えるダンスが披露されました。

選択競技

「100m走」「せんぷう」「二人三脚」の3種目に、誰がどの種目に出るかを学級ごとに決め、競技しました。当日は、どの種目でも熱戦が繰り広げられ、競技者だけでなく会場の応援も盛り上がりました。

100m走



せんぷう



二人三脚



学年競技

1年は「綱引き」、2年は「ローハイド」、3年は「小綱引き」で競い合いました。

綱引き



ローハイド



小綱引き



全校競技「大玉送り」

「1年vs2年vs3年」で競いました。

学年全員リレー

クラスマッチ形式のリレーです。バトンワークや走順を工夫し、競いました。



3年「ダンスバトル」

松ヶ江中学校名物「3年ダンスバトル」。今年で3度目です。それぞれのクラスで考えた創作ダンスを披露し、競いました。



「部活動紹介」

吹奏楽部の生演奏をバックに、3年生はユニフォームを着て行進を行いました。もうすぐ3年生の引退をかけた大会があります。良い成績を残してほしいと思います。



今年から前期・後期の2学期制ということで、春の体育大会になりました。短い準備期間でしたが、とても盛り上がり、大盛會に終わった体育大会だったと思います。

練習期間や大会当日、うまくいったこと、うまくいかなかったこと、成功したこと、失敗したこと、楽しかったこと、辛かったこと、人それぞれ、いろいろな経験をしたことと思います。これらの経験は、体育大会があるからこそできる経験です。すべての経験は、未来のつながるためにあります。何事もプラスに考える「プラス思考」で、体育大会での出来事を、胸に刻んでほしいと思います。